



CEReS

Newsletter No. 127

Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング研究センター ニュースレター 2016年6月発行：環境リモートセンシング研究センター（本号の編集担当：樋口篤志）
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857
URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

■■ 第10回 VL 講習会開催します (9月20日～21日) ■■

地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成

～日本の地球観測衛星を知ろう～

平成19年度より、4大学研究所・研究センターが中心となり、「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリー (VL) の形成」が始まりました。今回は千葉大学環境リモートセンシング研究センター (CEReS) が幹事校として VL 講習会を実施します。記念すべき第10回目となる今回は、講習対象を主に学部生とし、日本が誇る地球観測衛星群を知ってもらい、リモートセンシングによる地球観測に興味を持ってもらうことをテーマとして、1日目にひまわり8号を用いたコンピュータ演習、2日目に日本の地球観測衛星の紹介といった講習を実施します。9月21日の講習のみの参加に関しては、まだ受け付けることが可能です。折角の機会ですので、遠慮なくお問い合わせください。

*参加申し込み：E-mail (vllecture_2016@ceres.cr.chiba-u.ac.jp) にて申し込みください。

地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリー (VL) の形成
第10回 VL 講習会



「日本の地球観測衛星を知ろう」

日時：2016年9月20日(火)午後～21日(水)終日
場所：千葉大学環境リモートセンシング研究センター
内容：日本の地球観測衛星の紹介(講義及び演習)
対象：主に地球気候系の研究に興味を持つ学部学生、大学院生

講義内容

- 
地球観測衛星による計測、衛星データ概要、ひまわり8号が捉えた各種現象の解説
千葉大学 CEReS 樋口篤志 准教授
- 
光と電波で雲・エアロゾルを輪切りにする!
～雲エアロゾル放射ミッション(EarthCARE/CPR)の概要～
九州大学 応用力学研究所 岡本創 副所長/教授
- 
2周波電波で雨・雪を3次元スキャン!
～全球降水観測計画/2周波降水レーダ(GPM/DPR)及び 全球降水マップ(GSMaP)の概要～
JAXA EORC 久保田拓志 主任研究開発員
- 
雲を透過し大地を精密検査!
～「だいち2号」合成開口レーダ(ALOS-2/PALSAR-2)の概要～
JAXA EORC 本間毅 研究開発員
- 
“水”に関する微細な電磁波を大型回転アンテナで捉えよ!
～水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W/AMSR2)の概要～
JAXA EORC 前田崇 研究開発員
- 
大気と陸を繋ぐ炭素循環研究!
～温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT/GOSAT-2)の目指すもの～
東京大学 大気海洋研究所 今須良一 准教授

演習内容

- 
地球のダイナミックな変動を宇宙から観察する!
～Webベースの解析ツールを使ったひまわり8号衛星データ処理の実習～
※演習に使用するPCはこちらで用意します。

■■■ 2016年度第1回情報セキュリティ講習会実施 ■■■

サイバーテロの激化や個人情報保護の観点から、大学におけるインターネットインシデントリスクに対する対応は年々厳しくなってきました。一方、若いころからスマートフォン等の情報機器でネットに常時繋がっていることが当たり前な世代にとっては、「ネットに繋がっている」ことが大前提で、ネットセキュリティに関する講習も受ける機会も少なく、ある意味リスクの温床となっているところがあります。加えて、CEReSは留学生が多いため、ネットリテラシーの意識の差が大きく、意図せずしてセキュリティインシデントを起こしてしまうことがありました。



千葉大学内の全ての部局は所属する教職員を対象に毎年3回部局内研修を行う義務があります。CEReSでは上述した状況を鑑み、義務ではありませんが、ネットリテラシー向上、セキュリティインシデントの大幅削減を目的として、CEReS所属の学生向けにセキュリティ研修(講習会)を5月19日午後実施しました。留学生が多いこと(特に中国人、インドネシア人が多い)から、講習を3部屋に分かれて実施しました。

- ・ 日本人学生等を対象とした講習(豊嶋特任研究員による説明)
- ・ 留学生を対象とした講習(1)(英語、インドネシア語での説明、ヨサファット教授)
- ・ 留学生を対象とした講習(2)(中国語、楊特任助教)

日本人向け講習はこれまで教職員向けに作成したセキュリティ説明資料を基に説明し、中国人向けには楊先生がこの内容を中国語に翻訳してスライドを作成し、説明を行いました。何度もこうした研修を受けている教職員にとっては当たり前の内容ですが、こうした研修を受けたことが初めてな学生、留学生にとっては、状況理解に役立ったという意見がありました。この講習会のおかげでしょうか、心なしか部局内セキュリティインシデントは大幅に減ったように思います(何かあると直ぐに呼ばれて対応を求められるので)。今後も、インターネットは必要なデータ収集、論文等の情報収集等に有効に使い、今後もインシデント無しでいたいものです。本講習会では、前述した3名の先生に講師をお願いしました。ここに記して感謝の意を示します。

(文責: 樋口篤志、CEReS C-CSIRT* 部局メンバー)

*C-CSIRT: Chiba Univ.-Computer Security Incident Response Team: シーサーと読む。インシデントが起きた際に対応する組織の総称(のようです)。



Future Earth 勉強会 ～ 持続可能な地球社会をめざして ～

6月30日に安岡センター長主導のもと、教職員向けに Future Earth 勉強会が行われました。

“ Future Earth とは、「持続可能な地球環境に向けての国際協働研究イニシアティブ」であり、国際科学会議（ICSU）などの学術コミュニティ、研究資金提供団体や政策決定者などが協働して地球環境を包括的に理解し、地球規模の課題の解決に資する研究を総合的に推進することをめざす国際協働研究の枠組みです。”（出典：平成27年11月30日開催 CEReS 20周年記念式典特別講演／講演者－安成哲三総合地球学研究所所長）

国際的に科学技術における大きな流れとして、社会的課題解決への要請、国際的な連携の推進が求められており、優先的研究課題は何か、具体的な方法論と仕組みは何か、を考える中で、日本は、千葉大学は、そして CEReS は、どのような対応ができるのか、などのレクチャーを受けました。

まずは個々の意識を高め、「社会が何を期待しているかを探る」、「課題解決に向けた方法論、道筋を探る」、「常に新しい方法論を磨く」、といった中で、どのようにリモートセンシングの役割を位置づけ、社会に貢献できるのか、改めて考える有意義な会となりました。



■ 教職員昼食会

5月19日（木）にセンター長主催の昼食会が行われました。今年度から CEReS に加わった5名を含め、34名の参加者が食事を摂りながら会話を弾ませた、和やかな時間となりました。その後、学生も含め全体写真を撮りました。

